



SAMURAI CLOUD
POWERED BY NIPPON CLOUD WORKING GROUP

NCWG
NIPPON Cloud Working Group

クラウドビジネス 推進部会

第37回会合 大阪開催

ニッポンクラウドワーキンググループ
クラウドビジネス推進部会
部会長 藤田 浩之

■ クラウドビジネス推進部会 活動指針

➤ 目的

1. クラウドを利活用してビジネスに繋げるための、リアルな情報で語り合う場を提供する
2. 様々な方法で、実際のクラウドビジネス創出を促進する
3. “ニッポン”発のクラウドビジネスの発展に繋げる

活動内容

- ◆ クラウドビジネス事例／協業事例の共有
部会にて各社の事例を紹介
事例から見える成功パターン、失敗パターンを認識し、
各社のクラウドビジネスに活用
- ◆ クラウド検証報告『クラウド侍が征く』
部会やセミナーにて検証結果を報告
様々なクラウドサービス（IaaS）の検証結果を提供し、
各社のビジネスで利活用
- ◆ 協業を含むクラウドビジネス創出の促進

【部会風景】

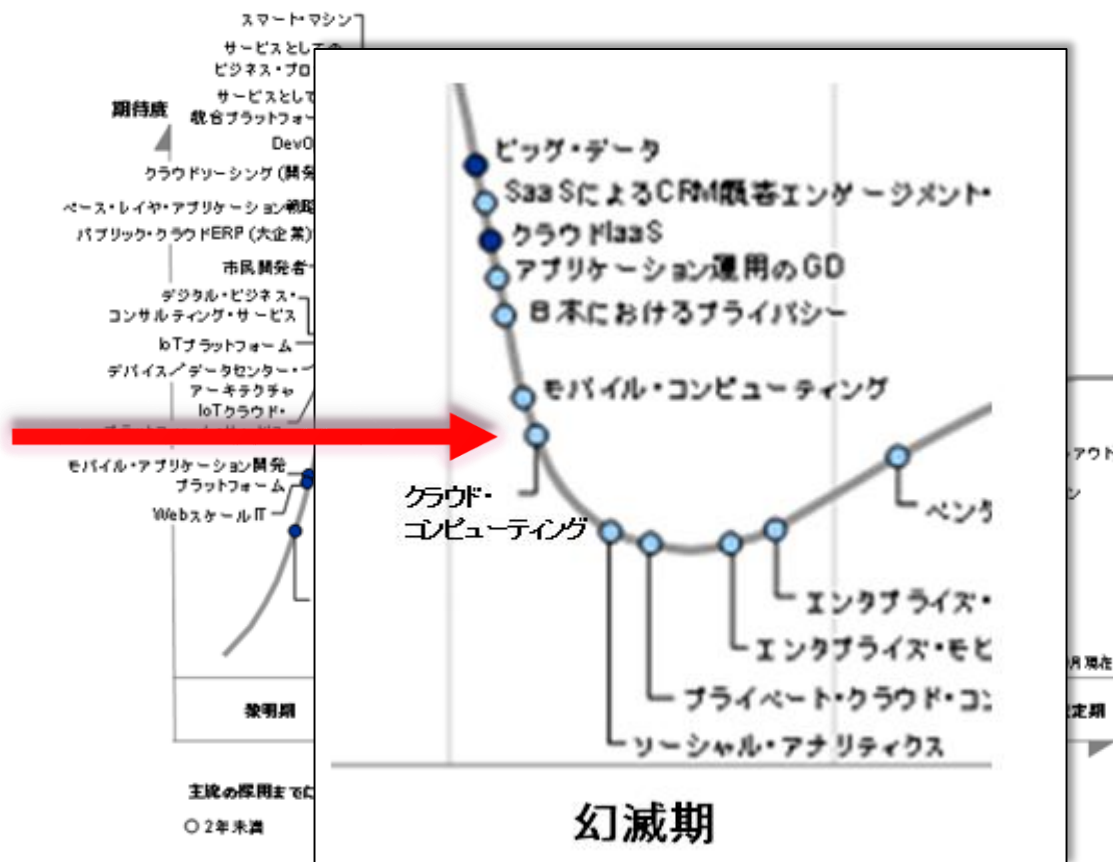


2016年度 部会活動のスローガン

「価値を生むクラウドビジネスを導く！」

図1. 日本におけるテクノロジーのハイブ・サイクル: 2015年

期待感が冷めた
からこそ問われ
る、クラウドの
利活用による本
当の価値の提供



2016年度の活動

価値を生むクラウドビジネスを導く！

『仮想協業モデルの検討・提案』
を主導

『仮想協業モデル』 とは？



仮想協業モデルとは？

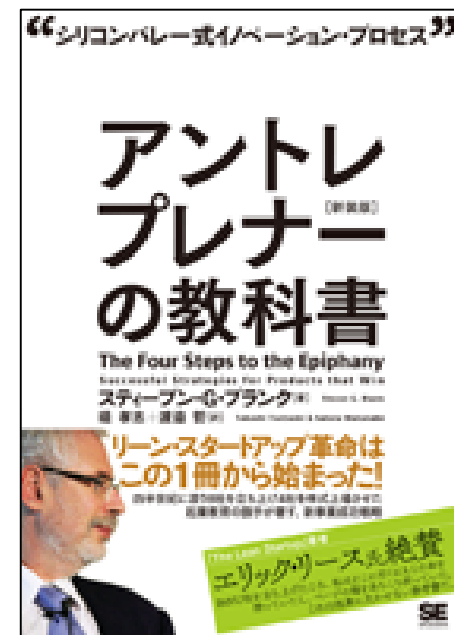
- ◆ 自社だけではビジネスは広がらないので、協業を検討したい
- ◆ 協業を実現するのは様々な課題があって難しい・・・
- ◆ だからこそ、難しさや実現性についてはとりあえず置いておいて、メンバー数社が仮想各社の強みを活かしてどのような協業ができるかを検討してみよう
- ◆ 実際に話しあってみると、良い協業アイディアが次々に出てくる！
- ◆ **良いアイディアは、実際のビジネスに繋げていこう**

仮想協業を検討するにあたり、

『「アントレプレナーの教科書」の
顧客開発モデル』が適用できるの
は？

という仮説のもと、部会にて「顧
客開発モデル」の勉強会を開
催中！

参加者にてディスカッションするこ
とで、より広い視点で内容を掴み、
勉強会参加者が協業を含めクラウド
ビジネスで実践していく。



著：スティーブン・G・ブ
ランク

訳：堤孝志、渡邊哲



SAMURAI CLOUD
POWERED BY NIPPON CLOUD WORKING GROUP

大阪（ニッポン）発の
クラウドビジネスモデルを
世界に！